

# 平成27年第2回定例会

## 人口減少対策調査特別委員会 提出資料（1）

### 1 中京圏・関西圏からの移住について

- (1) 中京圏・関西圏の移住相談状況について（地域連携部） . . . 1
- (2) 中京圏・関西圏におけるU・Iターン就職支援について（雇用経済部） . . . 5

平成27年10月13日

地 域 連 携 部

雇 用 経 済 部

## (1) 中京圏・関西圏の移住相談状況について

### 1 現状

#### (1) 首都圏の対応

三重県では、現在、策定を進めている「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）」において、人口の社会減対策にかかる取組のひとつとして、総合的な移住の促進を図ることとしています。

とりわけ、首都圏からの移住を促進する取組を強化するため、移住に関する相談をワンストップで受けられる常設の窓口として、「ええとこやんか三重 移住相談センター」を4月22日から開設しています。

#### (2) 中京圏・関西圏の対応

移住の促進を図るうえでは、首都圏に加えて、中京圏・関西圏における取組についても重要であると考えています。

本県との距離が近い中京圏においては、引き続き県庁において移住相談に対応するほか、市町や県庁に直接電話をいただいたり、来訪により相談される人が多いことから、市町が実施する「田舎暮らし体験ツアー」や「空き家バンク見学会」等のPRを行うとともに、イベントなどの機会をとらえて三重県の情報発信に努めています。

関西圏においては、関西事務所や、NPO法人ふるさと回帰支援センターの西日本の拠点である「大阪ふるさと暮らし情報センター」などと連携しながら、移住相談会の開催や全国フェアへの出展、三重県フェアでのPR等を行っています。

### 2 中京圏・関西圏における主な取組

#### (1) 「大阪ふるさと暮らし情報センター」における取組

「大阪ふるさと暮らし情報センター」において、移住相談会及び起業相談デスクを開催しています。

##### ① 移住相談会

1回目6月14日（参加者13組）、2回目10月18日

##### ② 起業相談デスク

1回目8月10日、2回目10月10日、3回目12月12日

4回目2月13日

#### (2) 全国規模の移住フェアへのブース出展

ふるさと回帰フェア2015大阪会場（8月22日、シティプラザ大阪）にブース出展しました。

（来場者2,140名、うち三重県関係ブースでの相談者15組）

### (3) 三重県フェアでのPR

イオンモール京都桂川で開催した「三重県フェア」(9月11~13日)において、三重県への移住についてPRを行いました。

### (4) 中京圏における取組

桜通りカフェにチラシ・パンフレットを配置しているほか、「ふるさと全国県人会まつり」(9月12~13日)においてPRを行いました。

## 3 受入体制の整備について

移住促進の取組を強化し、県内全域で展開するためには、移住者を受け入れる市町や地域の取組が重要となります。

こうしたことから、4月23日には市町の担当者会議を開催し、県の移住促進に向けた考え方や取組を説明するとともに、県内市町の取組について情報共有を図りました。また、8月19日には、グループワークなどの手法により移住者受け入れのための実務を中心とした第1回市町担当者研修会を開催したところです。

○市町における移住相談体制の整備状況(H26年度末と9月末の状況比較)

① 相談窓口開設	13市町	→	18市町
② 空き家バンク開設	12市町	→	15市町
③ 体験ツアーの開催	6市町	→	7市町
④ 相談会への出展	11市町	→	13市町

## 4 今後の取組について

引き続き、個々の相談者のニーズに応じたきめ細やかな対応を行うほか、様々な関連イベントの開催等を通じて三重県のPRに努めます。

また、市町担当者向けの移住に関する研修会や情報交換会を開催するなど、市町や地域における移住促進の取組強化に向けた働きかけを進めており、中京圏・関西圏からの移住の促進についても、市町や関係機関と連携して取り組んでいきます。

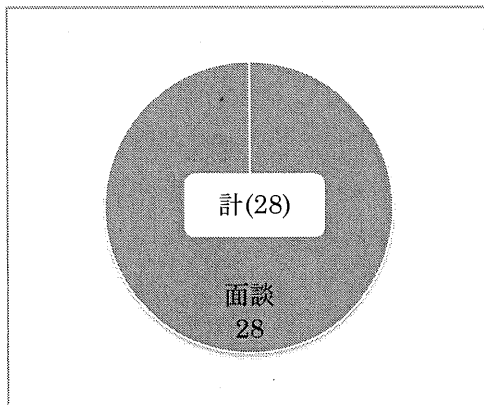
## 関西圏での相談状況

## (1) 大阪での相談内容の累計 28件

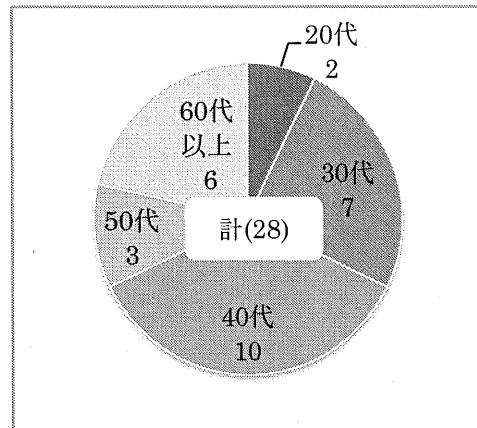
※6月14日に開催した「ええとこやんか三重移住相談会」での相談13件

8月22日に出展した「ふるさと回帰フェア（大阪会場）」での相談15件

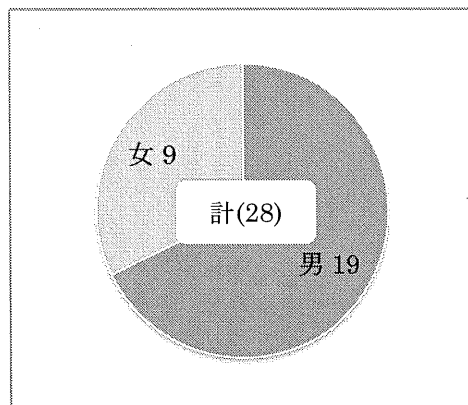
## ① 相談方法



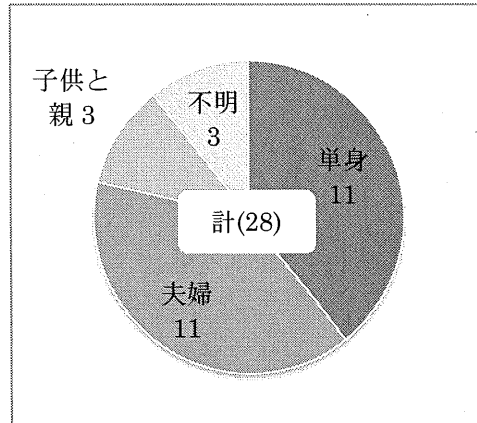
## ②年代



## ③性別



## ④家族構成



## (2) 主な相談内容

- ① 40代男性。地域おこし協力隊に興味がある。すぐにでも地域を見に行きたい。
- ② 30代男性。Uターンを考えている。市街地の出身だが実家に近くて、少し郊外に暮らしたい。空き家バンクとどのような求人があるか知りたい。
- ③ 30代女性。職種は問わないので、働く場所はあるのか。まずは様子を見たいので、賃貸物件が無いか検討している。
- ④ 60代女性。農家民宿に興味がある。今まで「いのちの電話」のボランティアをしていたので、迷える人たちが話に来ることが出来る宿をしたい。
- ⑤ 60代男性。地域の為になることで起業をしたい。親が志摩市出身なので三重の海辺が良い。



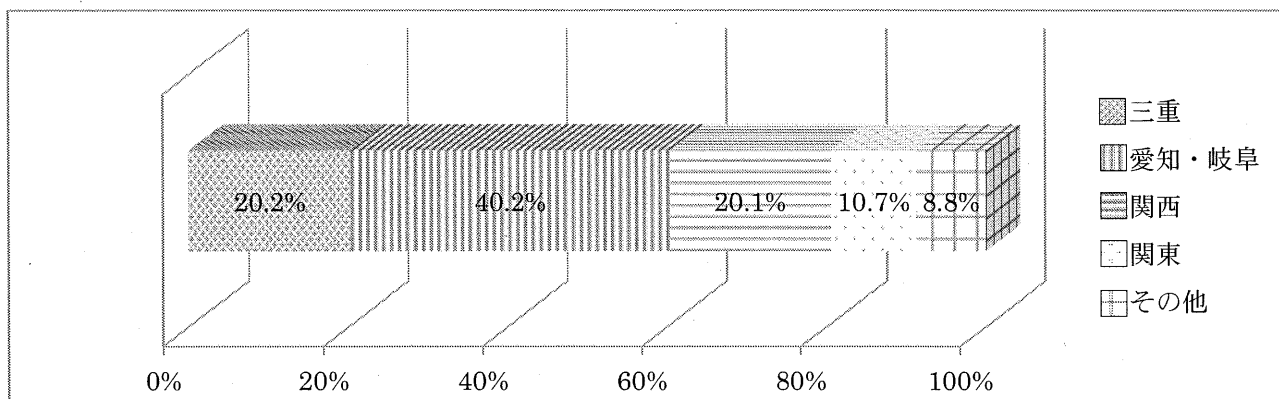
## (2) 中京圏・関西圏におけるU・Iターン就職支援について

### 1 現 状

少子高齢化が進み生産年齢人口が減少する中、本県内においても労働力の不足感が強まっており、特に中小企業・小規模企業においては、必要な人材の確保に危機感を抱いている状況です。

また、県内の高校を卒業した大学進学者のうち、愛知県を中心とする中京圏への進学が約4割、関西圏への進学が約2割を占めるなど、約8割が県外の大学へ進学しており、若者の県外流出が続いています。

こうしたことから、県内への進学、就職促進と合わせて、県外の大学へ進学した学生を呼び戻すとともに、県外出身者を県内に呼び込むことが重要となっており、本県では、首都圏、関西圏、中京圏でU・Iターン就職に向けた様々な支援を行っているところです。



### 2 平成27年度の取組

#### (1) 中京圏における取組

##### ①U・Iターン就職セミナーの開催

名古屋市内において、学生や卒後間もない若者を対象に、U・Iターン就職セミナーを2回開催し、U・Iターン就職に関する情報提供や参加者と参加企業とのフリートーク等を行います。

##### ②大学内就職相談会への参加・大学訪問による情報交換

おしごと広場みえの職員が、主に愛知県内の大学の就職担当課を訪問し、U・Iターン就職セミナーの開催情報等を提供したり、学生の動向に関する情報を収集したりしながら情報交換を行います。また、大学内で開催される就職相談会等でU・Iターン就職相談を行います。

(実績) 大学27校(28回)を訪問(うち1回は相談会)

## (2) 関西圏における取組

### ①出張就職相談の実施

関西事務所を使用し、本年6月から第2、4水曜日に、おしごと広場みえの職員による予約制の出張就職相談「みえU・Iターン就職相談 in 関西」を実施しています。(実績) 相談実施人数 6人

### ②U・Iターン就職セミナーの開催

大阪市内及び京都市内において、学生や卒後間もない若者を対象に、U・Iターン就職セミナーを各2回(計4回)開催し、U・Iターン就職に関する情報提供や参加者と参加企業とのフリートーク等を行います。

### ③大学内就職相談会への参加・大学訪問による情報交換

おしごと広場みえの職員が、関西圏の大学の就職担当課を訪問し、U・Iターン就職セミナーの開催情報等を提供したり、学生の動向に関する情報を収集したりしながら情報交換を行います。また、大学内で開催される就職相談会等でUターン就職相談を行います。

(実績) 大学 25校(28回)を訪問(うち7回は相談会、2回は保護者会)

## (3) 共通の取組

### ①企業の魅力発信

県内には、卓越した製造技術を持つなど魅力的な企業が多く存在しますが、こうした魅力が若者には十分伝わっていないため、県内の魅力ある中小企業・小規模企業等100社程度を取材してデータベース化を図り、専用ウェブサイトを通じて情報発信を行います。

### ②若者と企業の交流の場づくり

若者と企業が就職前に相互の理解を深めるため、県内において交流会(10回程度)やバス等による企業訪問(10回程度)を実施し、学生や若年求職者と企業経営者や若手社員との交流を行います。

### ③保護者向けセミナーの開催

大学生等の保護者を対象に、みえリーディング産業展2015等(計3回)、において保護者向け就職セミナーを開催し、県内における就職活動の情報提供等を行います。

### ④民間企業主催の合同企業説明会への出展

民間企業が中京圏、関西圏で開催する合同企業説明会にブース出展し、三重県内の企業紹介、県内における就職支援情報の提供を行います(5回程度)。